

会報

点 合	鐘	渡	
出	唱	邊	
席	報	敏	
報	告	行	
		会	
		長	
		我	
		等	
		の	
		生	
		業	
		出	62人
		席	
		義	
		務	
		会	2人
		員	
		免	
		除	
		出	40人
		席	
		出	22人
		席	
		出	64.52%
		席	
		率	



会長挨拶



私は仕事柄、いつもは子どもそれも乳幼児を相手に話をします。どうしても皆さんからすると、当たり前でやさしい表現が多くなります。又、子どもの話題が多くなると思います。お許しを頂き、お付き合いください。

さて、困ったもので新たな変異株の出現等で、急激な感染拡大が続いています。先週は東京で1万人を超えました。1日5万人を超すという、恐ろしい予測も出ました。今後の生活、そして、ロータリーの活動がどのようになるのか心配です。国の施策や情報、社会全体の状況に耳を傾けていかなければなりません。

ところで、今年度から取り入れました夜例会ですが、仕事の都合で昼間の例会に出席するのが難しい方に、夜なら出席できるのではないかと、夜の方がより親睦を深められるのではないかと計画をしました。

理事会でも、進行や内容についてどのようにするのが良いか意見が出ました。まず、昼間と順番を変えて、例会の後に食事をしよう。内容やアルコールの提供、費用はどうするか、例会の形式は守るとして、卓話はどうするか、いらないんじゃないかなという意見もありましたが、卓話の時間を少し短めにするとか、会長挨拶も簡単にして、食事の時間を長く取る。アルコールの提供についてはやりたいですけれども、飲む人と飲まない人が同じ金額を負担するのは、不公平にならないか、やはり飲んだら負担してもらった方がいいのではないかと思います。

クレストホテルとの打ち合わせでは、その場で現金の授受はできないとのことで、チケットを販売するか？ただ、アルコールの種類により金額が違うし、あまり手間がかかると担当の方が大変です。ならば回数券にして、飲んだ金額を支払う等悩んでいます。親睦委員会に頼むか、SAAに頼むかも検討中です。とりあえず、1回目の来週の夜例会はアルコール抜きで行ってみます。

今日は、各委員長さんの卓話があります。今年度の活動や考え方についてお話しされるとと思います。そこでできれば、各委員会ごとに年度初めと終わり位は食事会などをしていただき、どんな活動をしようか、皆さんの意見を聞きながら親睦を深めていただきたいと思います。もちろん、月1回で集合されてもいいし、お声をかけていただければ、私も参加したいと思います。

奉仕プロジェクト委員長さんには、柏RCらしい柏RCだからできたんだと、他クラブから言われるような奉仕活動ができたらいいなと考えています。組織活性化委員会の中山委員長さんにも、お力と知恵をお貸し頂けたらと思います。すみません、勝手に盛り上がって。そして、全員の参加が最高ですが、なるべく多くの会員が参加するような、そんな活動はありませんでしょうか？

まだまだ助けが必要な団体や、地域の人たちがいるはずですよ。お一人お一人が、仕事あるいは所属している会で気が付いた事、耳にした情報をなんでもお知らせ下さい。次回の夜例会では、文具や体操服の配布の際に、子ども達への又は保護者へのメッセージを書いていただき、品物と一緒に渡そうと計画しています。

クラブ報告

I 幹事報告

1. ビジョンレポート2020(本編と資料編)URLのお知らせ
2. 2022年7月20日(水)は通常夜例会です。点鐘は18時30分で例会後にお食事です
3. その他



島田秀貴幹事

II 委員会報告・理事会報告

1. 張ヶ谷政喜社会奉仕委員長

合同献血キャンペーンのお知らせ！2022年7月17日(日)に、柏駅東口ダブルデッキ上にて、合同献血キャンペーンが開催されます。

柏ロータリークラブの担当時間は、13時～16時となります。少しの時間でも結構ですので、皆様のご参加をお待ちしております。尚、参加される方は、柏ロータリークラブのビブスをご持参ください。ご協力よろしくお願ひいたします。



張ヶ谷政喜
社会奉仕委員長

III PR・ご案内

なし

《SAA》 大本國平委員長

SAA委員長の大本國平です。本年度のメンバーは、風澤俊夫F、萩原宏次F、大山球一F、鈴木哲也F、古里正Fの6名で例会を進めさせていただきます。

日頃、多忙なメンバーの方々が一息ついて楽しめる、楽しい例会を目指していきたく思います。楽しい例会とは時間配分を第1に考え、1番の楽しみである卓話者が気持ち良く発表出来る場を作ることだと思います。

また、本年度から夜例会も始まることとなり、昼の例会とは違った雰囲気での進行を考えたいと思います。今年1年、皆様どうぞ宜しくお願い致します。



《クラブ活性化委員会》 中山浩一委員長

昨年に引き続き クラブ活性化委員会委員長にご指名いただきました。会員数60名を超える地区内クラブは多くはありません。柏RCは充実したクラブであるといえましょう。

しかし、課題がないわけではありません。ロータリークラブに入会したからには、幹事、会長は必ず経験されるべきであるとは私は考えます。

傍目には 会長、幹事は大変な職務であると感じるものかもしれませんが、柏RCに所属する優秀且つ素晴らしい人間性をもった会員のリーダーとなることは、野球でいえば侍ジャパントップチームのコーチ、監督に就任することに匹敵するものと思います。

ロータリークラブでは是非、会長、幹事を積極的にお引き受けいただければ、当クラブ益々活性化されるものと思います。



《会員増強委員会》 岡本祐彦委員長

今年度、会員増強委員会委員長の岡本祐彦です。会員増強委員会は、今山利猛F・関学F・風澤斉Fで進めさせていただきます。

現在と10年前の当クラブの会員数/年齢構成は、62名/52名、年齢構成は69歳までが88%/91%の構成となっており、この10年間に於ける会員増員が現状を作り上げています。

一方で、この先10年を考えますと年齢では40歳台の増員を図る必要があると考えます。会員増強は、皆さまからのご紹介・推薦が頼りとなります。新しい仲間のご紹介を頂きたくお願いいたします。候補者とは、入会前にコミュニケーションをしっかりとることを心掛けて進めていきます。



《親睦委員会》 畔高弘樹委員長

本年度親睦委員長を仰せつかりました畔高弘樹です。どうぞよろしくお願いいたします。

多くの会員が集まり・語り・笑い・楽しむ、社会において多くの責任を負っているロータリアンにとって、クラブは心に休息を提供する場所だと思っています。今年度は社会環境に十分な配慮をしながらも、積極的な親睦活動を行ってまいりたいと思っています。

コロナ禍を通じて私が学んだことは、やはりロータリーは奉仕と親睦が両輪であるということです。なかなか叶いませんでしたが、会員の皆様との交流は、負担が多い日々が続く中で大きな安らぎとなりました。

今年度は社会情勢が許す限り、積極的な親睦活動を行っていきたく思います。特に旅行に関しましては会長と幹事のご意向もあり、二回の旅行を企画したいと持っております。秋の旅行はぜひ贅沢に行いたいと思っています。ロータリーだからこそいける場所を求め、企画を進めたいと思っています。また、移動例会におきましては都内のホテルでの宿泊を起点に企画を進めたいと考えております。共に社会情勢を十分に配慮し進めてまいりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



《プログラム委員会》 稲垣典子委員長

1年間、楽しく有意義な卓話のプログラムを組んでいきたく思います。

前任の委員長から引き継いだ過去の卓話者の記録をもとに、おおむね3年以上前に最後の卓話をした方に優先的に依頼していこうと思います。

また、新入会員の方には、他会員の卓話を何回か聞いた中盤以降にお願いする予定です。プロジェクターを使用する場合は、準備の都合があるますので事前にお知らせください。よりよい例会運営のために皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



《クラブ研修委員会》 石戸新一郎委員長

今年度の委員会メンバーは、少名子正彬F、寺嶋哲生F、中山浩一F、勝田秀一Fの5名での活動となります。1年間、ご協力のほど宜しくお願い致します。

クラブ研修委員会の活動は、『ロータリークラブとは何ぞや』を学ぶところにあると思います。仕事上で友の輪を広げようと始まった会合がロータリークラブとなり、117年を越える歴史を刻むことが出来た訳を考える必要があります。

幸い、昨年度の委員長である寺嶋Fが、多くの資料を残して下さいました。この資料を基にして、再度ロータリークラブの基礎を学んでいきたいと考えております。

特に、創立当初に決議された倫理訓(道德律)や社会奉仕、職業奉仕の概念の研究、公式標語の歴史など、現代の企業経営にとりましても重要な課題であると思います。20年前に幹事を、15年前に会長を引き受け、ロータリークラブの歴史を学んだ時、その奥深さに感動したことを覚えております。

以前に、松戸RC土屋亮平PGの卓話で「不易流行」について話を伺ったことが、脳裏に焼き付いております。皆様もご存知の通り、いつまでも変わらないものの中に新しい変化を取り入れる事が重要であるという意味と聞いております。

ここ10年程、老舗が多く倒産している様です。その理由を考えると「不易流行」の意味の大切さが分かって来ると思います。変わるものと変わらないものの重要性の他に、変化を取り入れない企業は淘汰されていくと言う事があります。また、その変化に対して、多角化するのか、拡大するのか、間違えると取り返しのつかないことになると思います。畑違いの業種に進出して失敗する例は沢山あります。

ロータリークラブに歴史は、企業経営にとって重要なヒントを与えてくれます。皆様と共に一年間、ロータリークラブの117年を学びたいと考えますのでお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。



本日のゲスト 猫田岳治ガバナー補佐(柏南RC)

ロータリアンもクラブを離れば、経営者や企業幹部の方が殆どです。リーダーというのは、時には孤独なことがあります。その各人がロータリークラブという、奉仕を柱とした利害抜きに集い、奉仕精神の育成とそれを通じた親睦活動が孤独なリーダーにとっての最大の魅力だと思います。孤独なリーダーに送る言葉があります。

■大将の戒め■

大将というものは、

敬われているようでその家来に、絶えず落度を探られるものだ。

恐れられているようで侮られ、親しまれているようで疎んじられ好かれているようで憎まれているようなもんじゃ。

大将というものは、絶えず勉強せねばならぬし、礼儀もわきまえねばならぬ。

よい家来をもとうと思うなら、わが食へらしても家来にひもじい思いをさせてはならぬ。

自分一人では何も出来ぬ。

これが三十二年間つくづくと思い、知らされた家康の経験ぞ。

家来というものは、禄でつないではならず、機嫌をとってはならず、遠ざけてはならず、近づけてはならず、怒らせてはならず、油断させてはならぬものだ。

『では、どうすればよいので』 家来には惚れさせねばならぬものよ

元和二年六月(1616年) 徳川家康

クラブにおいてもメンバー間に上下関係はありませんがリーダーとなる会長、委員会の委員長は上記の戒めを頭の隅に置いていただければ幸甚です。

≡ ショートスピーチ ≡ コロナの現状について 杉原 浩F



一時は減少していたコロナ感染症の第7波が始まって、東京、千葉から全国にコロナ感染が増加してきています。

しかし、多くは子供を含む若年層で、生命の危険が及ぶことがある高齢者や重症者はまだ多くはなっていないと思います。

ワクチン接種を積極的に受けることや、今の時期は人の集まるところにはなるべく近寄らないようにして、マスクをして感染防御をしていくことが大切だと思います。

マスクを外して長時間人々と会話をしていくことは避けながら、ワクチン接種、治療薬などでコロナが沈静化していくのを期待して、日常生活を今まで通りwithコロナで過ごしていくのが良いと考えます。今後もロータリークラブの集まりがWEB開催にならず対面が続けられていくことを願っています。

ニコニコ

川村由里子F(児玉F、板津F、アイちゃんの相談に乗ってくださり有難うございました。アイちゃんもビザと法務について相談できて、とても安心していました)

《編集後記》

猛暑の後に戻り梅雨となつてしまいました。この後、酷暑となるやもしれません。皆様、体調管理のほど、お願い致します。(中島康子)

例会日:水曜日 12:30~13:30

例会場:ザ・クレストホテル柏

柏市末広町14-1

TEL 04-7146-1111(代)



<会報担当>

委員長 井上英博 中島康子 杉原 浩

委員 坂本 博 中島有紀子 関 学

藤川 崇 山下和則 岡本雅子